

私のAction！！
“考える” から “実践” へ！ 一歩踏み出し行動してみよう！

職 名（ 主任事務主事 ）
経験年数（ 16年目 ）

～「学びの環境整備」を意識した校務運営への関わりを目指して～



- 私は “子どもたちのために” ※複数回答可
- ☐ 業務改善
 - ☒ 地域協働・教育課程
 - ☐ 組織力向上
 - ☐ 財務マネジメント
 - ☐ その他（意識改革・環境整備等）：

に關することをやってみる！

“思いとビジョン”

挑戦したい取組・なぜそう思ったのか

地域資源を活用した教育課程（文化祭・まちづくり）への関わり

教育目標にある「校区愛」を考え、地域にたくさんある資源（歴史的資源）を活用したカリキュラムが組めないかと教務主任と話し合い、構想に至った。

“未来予想図”

行動することで、どのような未来や子どもの姿を想像するか

通学している学区の良さや素敵なところを再発見してもらい、大人になったとき「自分が住んでいるところは、こういうまちなんだ！」と言えるようになってほしい。

そのためには…？どう “コーディネート” する？

誰とどのようになにをするのか “つなぐ” 役割として、どのように調整しまとめていくか など

教務主任、管理職と何を学んでほしいか共有することから始まる。学校運営協議会など、地域の願いも聞き入れていく。地域連携担当として、地域のまちづくりへの思いを教職員と共有し、人と人をつないでいきたい。しかし、教職員へ地域協働や地域学習の大切さを伝えて理解してもらうことが一番難しい。校外学習の在り方など、学年別にどう取り組んでいくか教育課程の会議で確認していく必要がある。

目標達成に向けて、必要な力とは？ 人材育成指標を確認して必要な力をチェック

[【人材育成指標を確認！！】](#)

- ☒ 調整力
 - ☒ 組織力
 - ☒ その他（下線部に記入）
 - ☒ 企画力
 - ☐ 実務能力
- 自分が関わって楽しいと思えるか
コミュニケーション力
教育課程への理解と知識



※複数回答可

参考例：滋賀県公立小・中・義務教育学校事務職員の職階に応じた人材育成指標

【実践の振り返り】

★Action 取組結果

（行動したことにより、どのような効果があったのか 子ども姿・組織力・教育力向上との結びつき）

取組を行った結果、子どもの姿や組織力等がどのように変化したか など

地域連携担当教職員として、地域の方と打合せを重ね、思いを聞かたに、地域資源を活用した教育活動は、地域の大きな願いだと実感した。数名の教職員を巻き込み、そこから更に数名を巻き込んでという輪を広げ、担当だけでなく教職員全体でかかわっているという意識づけができた。小中連携と文化祭の企画・運営にかかわっては、予算面や関係各所との連絡調整を事務職員が担うことにより、確実性が増し、時間の短縮にもなり、教員の負担軽減につながった。また、担当として子どもたちと一緒に活動することで、学校に対する思いや楽しい学校生活にしていきたいという思いを聴き、担当者や管理職につなげることができた。このことは、教育活動の「つなぎ役」となり、教育力の向上につながっていると考えている。

【参考写真】

